



# くさばな しんぶん

2019年12月号

2019（令和元）年

12月2日発行

通算第286号

## 《「食育」と収穫祭》

ことしも冬がやってきました。ここ数年言われているように、秋が短く、暑い夏からすぐに冬に放り込まれるような感じがします。頭の中では、まだ秋のはすなのにと思いつつ、でも身体は冬の身支度を求めています。

そうした季節の移ろいの中、ことしも、稲の刈り入れと「千歯こぎ」を使った脱穀、サツマイモの収穫が行われました。ともに苗の植え付けから収穫まで園児の手により行われました。もちろん、毎年、関田正幸さんのご指導によるものです。畑の提供から、苗の準備から、日頃の草取りから、おんぶに抱っこのようなありさまでありますが、これはまさにご厚意とご縁によるもので、ありがたいことの上ありません。

人間の不幸は、大地とのつながりの喪失によってもたらされる、とはイギリスの有名な哲学者、バートランド・ラッセルのことばです。生活様式の変化により、土と交わる生活が遠のいています。こうした中で、僅かでささやかな経験ではありますが、大自然との交流と土との出会いが持っています。作物も草も花も、畑に行くとき命を輝かせ、水分と匂いを放っています。その存在を誇るが如く。これから大根の収穫が待っています。

先日、調理実習を行いました。三角巾を頭に付け、甲斐甲斐しく働くお子さまたちの姿は美しいものです。植物は黙って成長して人間の命の糧となっています。大事にありがたいたくためにも、調理作業は大事な作業です。みんなで作り、みんなでいただく物はとてもおいしい。そんなことが体験できたら良いと考えています。

## 《成道会》

今週12月6日（金）に本堂で「成道会（じょうどうえ）」を行います。お釈迦さまが「悟り」を開かれた日が12月8日とされていますが、ことしは日曜日なので、金曜日に行います。絵を使ったお話しになるとと思います。「悟り」を幼児に話すのはとっても難しいことで、毎年苦労しています。ただ、人智には超えがたい、不思議で、しかしとても大事なものがこの宇宙にはあることを伝えようと、いろいろな角度から試行錯誤しながら苦闘しています。

## 《ふるさと》

暮れになるとあちらこちらで市民合唱団がベートーヴェンの第九交響曲を演奏します。テレビを見ていたら、ことし豪雨の災害を受けた長野県のある市の合唱団もこの曲を演奏し、最後に「ふるさと」を唱って演奏会を締めくくった、と放送していました。国破れて山河あり。にもかかわらず、その山河が暴れ崩壊する。でも美しい山や河よ。この切ない思いは、ドボルザークの「新世界」の第二楽章の、有名な主題にも満ちあふれ、国や民俗を超えて訴えて来ます。でも世界にはそのふるさとを追われ、難民として流浪の生活を余儀なくされている人々がたくさんいます。その心の悲しみやいかにばかりでしょうか。

理事長 山城 清邦

## 「わかし遊びを楽しんでいます。」

先日、2階の部屋で仕事をしていると、やま組の男の子が、自分で折った紙飛行機を手に遊びに来ました。ホールで飛ばす練習をすと言ったのでつつい仕事の手を止め、私も広告紙を出してきて飛行機を折り、一緒に飛ばして遊びました。20年くらい前は、誰の飛行機が良く飛ばかかみんな飛距離を競い、どうしたら良く飛ぶのかを子どもなりに考えたり、工夫をしたりしながら遊んだなあ・・・とそんな事を思い出しながら、気付けばお子さまよりも夢中になっている自分がありました。

今では壊れかけていた紙飛行機遊びの楽しさを再び思い出させてもらい、嬉しい気持ちにもなりました。また、やま組では、紙飛行機の他にもけん玉やこま回し、どうぶつしょうぎなど、昔からある遊びが展開され、友だちと競い合ったり練習したりしながらこれらの遊びの楽しさを味わっているところです。そうしたお子さまたちの姿を見て、改めて昔遊びの良さを感じる事ができました。これからはお子さまたちと一緒に遊びながら、楽しさや良さを伝えていきたいと思いました。

## 「今年度の運動会が終了しました」

23日の保育参観日には、多くの保護者の皆さまにご来園いただき、ありがとうございました。保育室が狭く、ご迷惑をお掛けいたしましたが、おうちの人に見守られながらクラスでの活動をするお子さまたちは、いつも以上に張り切っていたように思いました。また、10月14日の運動会の続きと言う事で、家族競技を中心に行いました。この日もあいにくの雨となり、ホールでの開催となってしまいましたが、おうちの方に見守られながらとても良い表情で参加していたお子さまたちの姿を見て、続きを行って良かったと思いました。保護者の皆さまにはご協力を頂く事が多く、ご迷惑をお掛けいたしましたが、今年度の運動会を無事に終える事ができました。ありがとうございました。

そして、気付けば今学期もあと僅かとなってしまいましたが、今学期も最後までどうぞよろしくお願いたします。

園長 影山 幸江

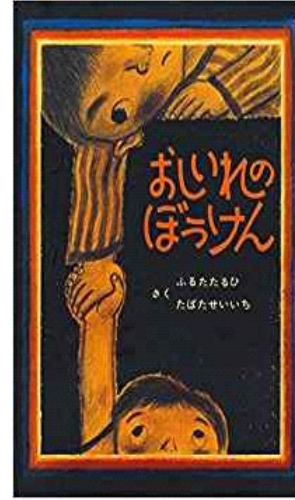


## 私のおすすめの絵本

（この欄は教職員が交代で担当します）

## 「おいしいのぼうけん」

さく・ふるたたるひ・たばたせいいち



ミニカーのとりっこでけんかをしたさとしとあきは、先生にしかられて押し入れに入れられてしまいます。そこで出会ったのは、地下の世界に住むねずみばあさん。二人をやっつけようとねずみばあさんが追いかけてくる話の展開に子ども達は引き込まれていきます。その思いが読手にも伝わり、さらに熟慮のある語りになっていく自分を体感した事があります。これが子どもたちと作る読みきかせワールドの醍醐味なのだと実感し、気付かせてくれた大好きな作品となりました。

80ページとボリュームのある話ですが、毎日少しずつでも読み進め、次への期待を楽しむのも一興かと思います。

和田 純子

## 保護者会だより



今月は三橋武夫先生、三橋こと江先生へのインタビューです。

### 三橋武夫先生

Q. 子育てにおいて心に残っている思い出はなんですか？

A. 長女が小学校の時、当時の「学芸会」で主役になれなくて、「お父さん、私はどうしてなれなかったの？」と目を潤ませて聞いてきました。今でも心に残っている思い出です。

Q. これまでに訪れた場所で、心に残っている場所を教えてください。

A. 次女の義父と私は同い年です。私たちが定年退職を迎えた時に、娘や婿さんが定年記念旅行を計画してくれ、両家全員で富士五湖周辺を一泊二日で周りました。

### 三橋こと江先生

Q. 子育てにおいて心に残っている思い出はなんですか？

A. 長女が小学校から大学まで皆勤賞だったことです。特に高校の時は保護者が頑張ったとの理由で表彰していただけたことです。

Q. これまでに訪れた場所で、心に残っている場所を教えてください。

A. 定年退職旅行で北海道に行きました。（小樽・富良野・知床・摩周湖・美瑛・網走刑務所）

お忙しい中インタビューにご協力いただきありがとうございました。

担当：やま組 河野 土井垣 加茂前